

(案)

とよあけ 生涯学習 アクション プラン

(2010年～2015年)

= 市民と行政のパートナーシップで推進する生涯学習 =



国指定史跡 桶狭間古戦場伝説地

計画策定の目的

豊明市生涯学習計画が1999年に策定され、10年が経過しました。この間、社会の変化は著しく、変化に対応した生涯学習が求められています。生涯学習で得た成果を生かすことのできる社会の実現を目指して、2010年～2015年までの事業計画を策定します。

計画の位置づけ

第4次豊明市総合計画（2006年～2015年）は、文化、体育、保健、福祉、教育と多岐にわたって計画が策定されています。生涯学習は、人々が幸福な人生を送りたいと願い、絵を描いたり、スポーツをしたり、子どもに絵本を読んだりという、日常の市民生活の全てです。第4次豊明市総合計画の人間の社会生活に関わる部分が、生涯学習であるといえます。

計画の社会的背景

少子高齢化社会の到来に加え、経済・情報のグローバル化の加速等、人々を取り巻く状況は大きく変化しています。人々は、生涯を通じて健康で生きがいのある人生を過ごしたいと願っています。人々は、自己の充実、生活の向上のため、多様な学習の機会を求めています。そのような中で、平成18年に教育基本法が改正されました。教育基本法第3条では、生涯学習の理念について、「その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現」を求めています。第10条では、「家庭教育は、父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努める」とともに「国及び地方公共団体は、家庭教育を支援する。」とうたっています。第13条では、「学校、家庭及び地域住民は相互の連携協力に努める」とうたっています。



県指定天然記念物 ナガバノイシモチソウ

基本方針1 市民の学習活動の促進

幸福な人生の実現を目指し、健康で、心豊かに生きる総合的な力を市民一人一人が身に付けるために、学校教育のみならず、広く生涯を通じての学習が大切です。市民の学ぶ意欲を支え、学習活動を促進します。

1) 市民が主役の生涯学習

社会の変化に対応する力を身に付けていくことは、各人の自発的な意思によるものです。市民自らの学習活動を支援していきます。

施策・事業

サークル講座、NPO講座（生涯学習課）

市民が講師となり、市民の自主的運営を目指した講座を開設します。



NPO講座「田んぼの学校」

市民活動支援事業（市民協働課）

協働の担い手たる市民活動団体を支援し、活力ある街づくりをめざすため講座等を開設します。また、市民活動情報サイトでは、市民活動団体・グループ等の活動情報等をホームページ及び情報誌にて紹介するとともに、市民活動室を提供します。

市民提案型まちづくり事業（市民協働課）

市民活動団体が自ら地域の課題を解決するために、市民が企画提案する公益的な事業を財政的に支援します。

史跡ガイドの養成（生涯学習課）

歴史講座の受講者の中から、史跡ガイドが育つように努めます。

2) 成長段階ごとの多様な生涯学習

新たな学習への関心が次への学習意欲を引き出し、生涯を通じての生涯学習へと連動していきます。関心を持続させ、なじみ易く、実生活に役に立つ、専門性に富んだ講座等を開設します。

施策・事業

青少年教育（生涯学習課）

青少年の健やかな成長のため、「少年の主張」「成人式」など、年齢に対応した事業を実施します。

成人教育（生涯学習課）

社会情勢の変化による、新たな課題に、的確な対応が求められています。社会が必要としている課題などを中心に、大学講座を開設します。

高齢者教育（生涯学習課・高齢者福祉課）

長寿社会において、心身共に健康であるために、食生活改善、筋力の維持・向上等を目指した健康講座、教養講座を開設します。



平成20年度豊栄大学「軽体操」

3) 多様な学習機会

社会教育施設を利用した多様な学習の場の提供

市内に点在する社会教育施設等は、地域の学習・文化・教育活動の拠点であり、施設の目的に沿って地域社会の発展に貢献します。

施策・事業

公民館講座（生涯学習課）

あらゆる機会に、あらゆる内容で、市民の学びたいという気持ちを大切に、市民に満足していただける講座を開設します。

出前講座（各課）

専門的知識・技術を持った職員が地域の要請に応え、地域において講座を開設します。

老人センター事業（高齢者福祉課）

高齢者を対象に書道、華道等の趣味教室を開きます。

地域で行う高齢者事業（高齢者福祉課）

高齢者の健康づくり・介護予防のため、地域の施設において運動やレクリエーション活動を実施します。

歴史民俗資料室の公開（生涯学習課）

豊明の歴史・文化についての学習のため、常設展とともに特別展を開催します。

ナガバノイシモチソウ等の公開（生涯学習課）

ナガバノイシモチソウ等を絶滅の危機から守るとともに、一般公開をとおして自然環境保護の重要性について学びます。



ナガバノイシモチソウの一般公開

図書館活動

学校教育への援助及び家庭教育の向上に資するなど、生涯学習の中核施設として、図書その他の資料や各種情報を収集整理し、市民に提供します。また、学校を始め読み聞かせボランティアの活動範囲を拡げ、地域での読書活動を推進します。

体育館活動

地域づくりの視点から、スポーツ・レクレーションをとおして地域住民の連帯感を高めながら、社会体育関係団体と連携し、積極的にスポーツ・レクレーション活動を推進します。

文化会館自主事業

音楽や芸術に触れる機会を創出し、多くの市民の心に夢や感動を提供するための鑑賞型事業や、市民参加型事業を編成するとともに、文化活動団体の支援事業を推進します。

市民文化講座・呈茶事業（文化会館）

市民の文化意識の高揚を図るため、文化講座等を開設します。

文化会館補助事業

豊明市文化協会の活動（みどりの文化祭等）及び各区等が実施する地域文化祭開催に対し補助を行います。

公民館まつり（生涯学習課）

日ごろ培った趣味・教養・文化活動等の成果を市民に披露する機会を設けます。

デジタルデバイド対策（生涯学習課）

コンピュータなどの情報機器が扱えないことによって不利益が生じないように、公民館でパソコン教室を開設します。



公民館講座「パソコン講座」

子どもの居場所づくり（生涯学習課・体育課）

豊明市スポーツクラブ、豊明市文化系ジュニアクラブ等の居場所づくりの充実に努めるとともに、放課後子ども教室を試行的に実施し、スポーツ、学習、人とのふれあいの場所を提供します。

障害者の居場所づくり（社会福祉課）

障害者（児）が参加できる趣味やスポーツのクラブや講座を充実します。

施設利用（各課）

野外教育センター、豊明文化広場、大蔵池陶芸の館、学校施設、農業改善センター、都市公園等を生涯学習の場として利用します。

キャリア教育の充実

子どもや若者を取り巻く社会の状況や雇用をめぐる環境が大きく変化する中で、一人一人が夢や目標を持ち、自立した社会人、職業人として必要な資質や能力を身に付けて、それぞれの人生を健康で心豊かに生きられるように支援するキャリア教育の推進、充実に努めます。

施策・事業

若者の就業相談（産業振興課）

これまでの自分自身を振り返り、今後の職業生活に向けたキャリア形成についてアドバイスします。

中学生の職場体験（学校・指導室）

中学生に働くことの大切さや大変さを体感させるとともに社会性を身に付けさせるため、学校と企業が協働でキャリア教育を推進します。

小学生の「生きる力」の育み（学校・指導室）

同学年、異学年、地域住民との交流の中で、人とかかわる力やルールを守る態度、協調性、主体性、他者を思いやる心を育みます。

基本方針2 家庭教育力の向上

父母その他の保護者は、子どもの教育について第一義的責任を有します。家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対して学習の機会、情報の提供などにより家庭教育力の向上を支援します。

子育て、家庭教育支援

核家族化などによる地域の地縁的なつながりが薄らぐ中で、子育てに不安や悩みを持つ保護者を支え、青少年の健全な育成を推進します。

施策・事業

親子ふれあい事業（各課）

親子が共に体験し、親子の絆を深めていくために、親子スポーツ、親子映画会、キャンプ、陶芸、工作、夏休み親子チャレンジクッキング、親子の食育教室等を実施します。



妊娠期の事業（健康課）

妊婦さんご家族を対象に、子育てに役立つ情報を伝え、また妊娠中からの仲間づくりをすすめることで、これからの子育てを共に支えあうことができるよう支援します。

乳幼児期の子育て支援（健康課）

子育て中の気がかりなことへの相談対応や、地域で子育てをする親子の交流事業をとおして、前向きに子育てができるよう支援します。

青少年の健全な心の育成事業（健康課）

「いのちの尊重推進事業」として、小中学生及び高校生に、いのちの大切さと男女の違いと互いの尊厳を伝え、自分や他人を大切に思えるようになるきっかけづくりとします。

乳幼児期の子育て講座（生涯学習）

「ベビーマッサージ」「ベビーサイン」などの親子参加の講座を開設します。

おやじの会（生涯学習課）

男性の子育てを支援します。

家庭教育学級（生涯学習課）

幼児、児童、生徒の保護者を対象に各種講座、保護者間の情報交換、社会見学を行い、家庭教育学級活動をととして保護者同士が子育てについて支えあいます。



合同家庭教育学級「ヨガを使った寝たままダイエット体操」

基本方針3 地域の教育力向上

学校と地域が子どもたちの健やかな成長という共通の目的で緊密に連携、協力することにより、学校と地域の信頼関係を深め、また、地域にとっては、これまで培ってきた知識、経験を生かすことにより地域の教育力が向上します。

1) 地域での子育て支援

地域で、大人と子どもが交流を深め、地域の中で子どもが健やかに育まれるよう支援します。

施策・事業

地域子育て支援センター（児童福祉課）

育児不安や育児ストレスを抱く親を対象に相談・訪問事業を推進します。

文化活動保護（生涯学習課）

地域の祭囃子伝承ということのみでなく、地域の大人と、担い手の子どもたちがふれあうことにより、子どもの社会生活が豊かなものとなるよう支援します。

青少年健全育成事業（生涯学習課）

地域の文化祭、運動会、子ども会行事などをとおして、青少年が地域の人々とふれあい、健やかに成長していけるよう地域を支援します。

家庭教育市民大会（生涯学習課）

中学生による「少年の主張」をとおして、今の子どもたちの思い、考えを、参加した地域の代表者・市民が地域行事などに生かしていきます。



家庭教育市民大会「少年の主張」

母親クラブ（児童福祉課）

児童館利用者の保護者が、地域の高齢者との交流等の自主事業をとおして、地域の青少年の健全育成を目指します。

2) 学校との連携

学校と地域が、子どもたちの健やかな成長のために緊密に連携していくことは、学校と地域の信頼を深め、地域住民が学校(児童、生徒)への関心を高め、共に、子どもを育てていくという機運を高めます。

施策・事業

豊明市スポーツクラブ・豊明市文化系ジュニアクラブ（再掲）

学校・地域の指導者の協力を得て、地域に根ざしたクラブを育成します。

子どもの安心安全地域連携事業（学校・指導室）

学校・家庭・地域が連携し、子どもの安心と安全を守るため、通学路や地域の防犯活動を推進して地域と子どもの絆を深めます。

さわやかひと声運動（学校・指導室）

あいさつ、声かけを持続的にすることにより地域と子どもの絆を深めます。



小学生によるナガバノイシモチソウの保護活動（生涯学習課）

自然とふれあう中で、自然を保護していく大切さ、環境を守ってゆく大切さを考え、地域、郷土への愛着心を培います。

大学との連携（生涯学習課）

愛知教育大学、桜花学園大学、名古屋短期大学との連携を深め、生涯学習の推進に努めます。

学校・家庭・地域をむすぶP T A活動等の充実（生涯学習課）

お助け隊、サタデーP T A等の学校ボランティア活動を支援します。